

## 集団でトワの眠りに

グリム童話に「寿命」という話がある。

以前読んで印象に残ったのであろう、パソコンの備忘録に遺されていた。その文章、解説文の出典が判然とせず、たぶん誰かの、何かの引用であろう。あらかじめお断りしてご紹介したい。神様が世界を創ったころのお話である。

神様は動物たちに30年の寿命をやろうといった。しかしロバは、重い荷を運び続けるには長すぎる時間だと18年、削ってもらった。イヌは、そんなにいつまでも元気に走り回れないと12年、減らしてもらった。そしてサルもまた、陽気な馬鹿をやっているには長すぎると10年ばかりを神様に返上したのである。

ところがヒトは「自分の家を建て、田畑に実りをもたらし、カマドの火が燃え盛ってこれから暮らしを楽しもうというときに何故死ななければならないのか」と嘆き、神様に、ロバの18年、イヌの12年、サルの10年をもらえないかと頼んで、70年の寿命を受け取った。

だからヒトは、初めの30年については人間の寿命を元気に生き、仕事にも喜びを見出して生きる。ところがその後は、へこたれながら重い荷を背負うロバの18年、走る元気がなくなったイヌの12年、そして最後に、間の抜けたことをするサルの10年を過ごすことになったのだ、と。こういう話である。

それにしてもロバもイヌも、あのサルのなんと賢明であることか。分をわきまえるとはこのことであろう。愚かなヒトは「人生70年」どころか100年の現実にうろたえる。

作家・山田風太郎がかつてこんなことを話したことがある。一部不穏当な表現があるが時代性を鑑みご容赦願いたい。

「僕のアイデアでは、ボケ老人を一堂に集めて、集団でトワの眠りについてもらう。毎年八月十五日に戦没者追悼式を行う日本武道館か、いやこのセレモニーのために五階建てくらいの、森厳豪華きわまる神殿を造ってもいいかも知れない。そこに花をつめた柩をびっしりならべて、そのなかに横たわってもらう。そのうちガスがしずかに全館を満たす…」

それは強制ですか、と問われると「いや志願だ。六十五歳になったとき、将来ボケてクソジジイ、クソババアの徴候があらわれたら、この国家的葬送の儀に参加させてくれという登録をしておくんだ。自分の排泄物の始末もできない状態になってまだ生きていたいと思わないひとは、さぞ多いだろうからね。どうだい」。

本人はかなりの批判を覚悟したというが、手元に届いたのは意外や好意的な反応であった。そうだろうね。

5月は私の誕生日。69歳になる。そこで「国営安楽施設」の建設を切に希望する。「人生70年」どころか、残り30年はどうにも自信が持てない。

「新聞に載らない内緒話」 <http://www.nikkansports.com/general/column/naisyo/news/>

※上記のHP（ホームページ）からの原稿の転載はご遠慮ください。

あなたの進学を応援します

### 朝日奨学会 首都圏制度募集

夜間・通信も大歓迎!

- Point 1 返済不要の奨学金を支給  
教材費の支給は朝日だけ
- Point 2 毎月支給の給料で生活も安定
- Point 3 家賃0円  
冷暖房完備の個室を無料で提供

朝日奨学会

〒104-0045 東京都中央区築地4-5-14  
TEL: 0120-127-733 (平日10:00-18:00)  
WEB: [www.asahishogakukai.or.jp/](http://www.asahishogakukai.or.jp/)



累計500万冊突破

## 天声人語

書き写しノート

ノートは通常版、学習用、脳トレ版、英文字版、英訳版の全5種類

書き写すだけで、知っている言葉が増え、文章力がつく!

■通常版/A4判 定価220円(税込) 1カ月分  
■発行・編集 朝日新聞社

天声人語ノート

▶ASA(朝日新聞販売所)でお求めいただけます。